

仙台市長  
奥山恵美子  
×  
山形市長  
佐藤孝弘  
×  
東北芸工大教授  
馬場正尊

# CREATIVE LOCAL

東北芸術工科大学 地(知)の拠点整備事業パネルディスカッション  
クリエイティブ・ローカル／仙山生活圏の可能性

2017年 3月22日(水) 14:00 開式(13:30開場)

ホテルメトロポリタン山形4階「霞城」(JR山形駅隣接)  
入場無料(要申込)／定員300名

主催：東北芸術工科大学  
お問い合わせ：東北芸術工科大学法人企画室  
TEL 023-627-2246 山形県山形市上桜田3-4-5  
coc-sympo@aga.tuad.ac.jp

# CREATIVE LOCAL

クリエイティブ・ローカル／仙山生活圏の可能性

パネリスト：

奥山恵美子(仙台市長)

佐藤孝弘(山形市長)

馬場正尊(東北芸術工科大学教授)

仙台と山形、2つの都市をクリエイティブでつなぎ、ひとつの生活圏として捉えてみる。そこから、お互いの魅力や連携の可能性が改めて見えてくるのではないだろうか。

人口約108万人の仙台市は東北の経済と文化の中心であり、都市的なアクティビティを生み出している。一方、人口約25万人の山形市は食や農、温泉など豊かな環境に囲まれ、それを活かした生活を表現し始めている。時間距離が約1時間の両県庁所在都市の間には、1日に80往復のバスが走り、年間のべ100万人以上の人々が往来している。お互いの特徴を活かした人材と経済の交流が活発に行われている。

これをつないだエリアを、仙山生活圏と位置づけてみる。そこには2つの都市の関係がつくり出すバランスのとれた地方の姿がある。東北芸術工科大学は、東北唯一の芸術系私学として、仙台と山形を、自由闊達に、クリエイティブにつなげたい。

この対談では大学を触媒としながら行われる都市連携の可能性や、未来の東北の理想について語り合う機会としたい。



〔第1部〕

主催者挨拶／根岸吉太郎(東北芸術工科大学学長)

来賓挨拶／奥山恵美子(仙台市長)、佐藤孝弘(山形市長)

東北芸術工科大学「地(知)の拠点整備事業」の取り組みと成果

〔第2部〕

パネルディスカッション

「クリエイティブ・ローカル／仙山生活圏の可能性」



申込み方法：

参加者名、所属・役職、電話番号を記入のうえ、  
Eメールまたはファクシミリにて申込みください。

Eメール

**coc-sympo@aga.tuad.ac.jp**

ファクシミリ

**023-627-2185**

主催：東北芸術工科大学

お問い合わせ：東北芸術工科大学法人企画室

TEL 023-627-2246 山形県山形市上桜田3-4-5

coc-sympo@aga.tuad.ac.jp

●ファクシミリでのお申し込みは、下記にご記入のうえご送付願います。

参加者名	所属・役職(任意)	TEL／Eメール